

沼田合同庁舎ウィンドアートの制作



令和7年12月22日(月)に沼田合同庁舎1階交流スペースにて、美術部によるウィンドアートの制作を行いました。「キットパス」というクレヨンを用いて、高さは約120cm・横幅は8mを超える大きなガラスに1・2年生が力を合わせて絵を描きました。

初めて扱う画材に苦戦しながらも、「どのようにすればうまく扱うことができるのか」お互いにアドバイスをし、励まし合い、共同制作ならではの充実した作品づくりとなりました。

作品のアイデアスケッチは夏休みの間に皆で一緒に取り組み、地域の方によるご協力のもとひとつの図案に仕上げました。沼田地区の「豊かな自然」や「人々のあたたかい繋がり」をテーマにしており、過去から未来へと時代を超えて人々がつながり、郷土を愛することができるよう願いを込めてデザインしました。



＜作品に込めた思い＞

伴のシンボルマークからイメージをふくらませ、作品の中心には火山を描きました。そして火山を中心にのぼる太陽と月、また、さまざまな生き物たちが柔らかな表情で描かれています。また、「地域の未来をつなぐ」という意味を込めてアストラムラインが空を走っています。

交流スペースに多くの人が訪れ、作品を通じて明るい気持ちになっていただけなら幸いです。作品は令和8年3月の終わりごろまで展示される予定です。沼田合同庁舎を訪れた際には、生徒たちの力作をぜひご覧ください。

＜ウィンドアート作品＞

